

2010年度

科目名	心理学A		
担当教員	広沢 俊宗		
配当	文 1	コード	15070
開期	前期	講時	月曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	大学生生活の心理学		
目的と概要	高校から大学へスムーズに移行し大学生生活に適応するためには、まず、両者のちがいを十分に認識する必要がある。この科目では、「大学での学び」、「自分という存在」、「他者や社会との関わり」について、心理学的視点から学んでいくことにより、大学生生活への適応を容易にし、さらに充実させることを目的とするものである。		
成績評価法	小レポートなどの平常成績(20%)と定期試験(80%)をあわせて、100%で評価する。		
テキスト	藤本忠明・東正訓／ワークショップ大学生生活の心理学／ナカニシヤ出版 適性開発研究会編／『JOHO—CAB検査』／情報センター		
参考書	藤本忠明・東正訓／ワークショップ心理学／ナカニシヤ出版		
履修に当たっての注意・助言	授業を1/3以上欠席すると、定期試験の受験資格を喪失するので注意すること。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学と大学生生活 心理学という学問領域について理解し、大学生生活との接点を考察する。</li> <li>2. 学びの心理学 (1) 学ぶ技術を再点検しよう。</li> <li>3. 学びの心理学 (2) 学習特性を自己分析しよう。</li> <li>4. 学びの心理学 (3) 効果的な学習法を身につけよう。</li> <li>5. 自己の心理学 (1) 私たちは世界をどのように認識しているのか。</li> <li>6. 自己の心理学 (2) どのように成長してきたか-他者との出会いのはじまり-</li> <li>7. 自己の心理学 (3) どのように成長してきたか-社会性と共感性の発達-</li> <li>8. 自己の心理学 (4) 自分の性格を知る。</li> <li>9. 自己の心理学 (5) 大学生の心の健康について理解する。</li> <li>10. 他者と社会とのかかわり (1) 出会いから友人関係が深まるまでの過程を理解する。</li> <li>11. 他者と社会とのかかわり (2) 集団と個人の間を考察する。</li> <li>12. 他者と社会とのかかわり (3) 悪徳商法にひっかからないために</li> <li>13. 他者と社会とのかかわり (4) 交通事故に遭わないために</li> <li>14. 他者と社会とのかかわり (5) 卒業後の進路を考えよう。</li> <li>15. まとめ 今までに学んだ内容から、大学生生活について再考する。</li> </ol>			